

第60卷 第7号

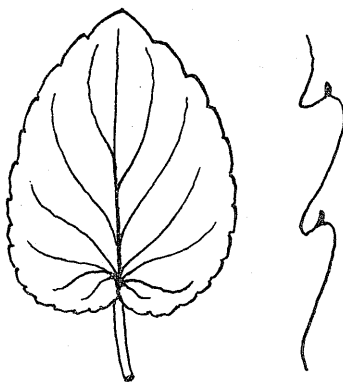
(通卷第689号)

Vol. 60 No. 7

植物研究雜誌

THE JOURNAL OF JAPANESE BOTANY

昭和60年7月 July 1985



津村研究所

Tsumura Laboratory

TOKYO

昭和六十一年七月十五日印刷
昭和六十一年七月二十日發行
三種郵便物認可
（毎月二十日發行）

目 次

佐藤嘉彦・井上珠美：マルバウツギ，ウツギ及びバイカウツギの胚嚢形成…………… 193
 菅原 敬：ズソウカンアオイ及びその近縁種について…………… 202
 能城修一：関東地方南部におけるオオバイボタとミヤマイボタの変異 (1)…………… 213²⁹¹₂₂₃
 雑 録
 大橋広好：マメ科の帰化植物 タマザキクサフジ……………222——浅井康宏：アメリカネ
 ナシカズラに関する最近の知見……………223
 新 刊……………201, 212, 224

Contents

Yoshihiko SATO & Sumi INOUE: Embryo sac formation of *Deutzia scabra*,
D. crenata and *Philadelphus satsumi*…………… 193
 Takashi SUGAWARA: A note on *Heterotropa pseudosavatieri* and its allied
 species (Aristolochiaceae) …………… 202
 Shuichi NOSHIO: Variation of *Ligustrum ovalifolium* and *L. tschonoskii*
 (Oleaceae) in the southern Kanto district, Honshu (1) …………… 213
 Miscellaneous
 Hiroyoshi OHASHI: Records of a naturalized *Coronilla* (Leguminosae) in
 Japan……………222——Yasuhiro ASAI: *Cuscuta pentagona* Engelm. established
 in Japan……………223
 Book review……………201, 212, 224

〔表紙カットの説明〕 スミレ属に一般に見られる葉縁の腺毛。材料はオカスミレ。この毛は今まで見逃されていたようである。(津山 尚)

〔Explanation of the cut on the cover〕 The glandular hair generally seen on the leaf-margin of the genus *Viola*.—*Viola phalacrocarpa* Maxim. var. *glaberima* W. Beck. This hair seems to have escaped notice.

(Takasi TUYAMA)

投 稿 規 程

1. 論文の投稿者は原則として本誌1年以上の購読者であること。
2. 文章は簡潔に書くこと。
3. 論文の脚注に著者の勤務先（勤務されていない場合は住所）とその欧文訳を付記すること。また、継続論文は脚注に前報掲載の誌名、巻数、頁、年号を入れること。
4. 本論文と雑録の著者名にはローマ字綴りを、題名は欧和両文で付けること。
5. 和文原稿は平がな交じり、横書のこと。植物和名には片かなを用い、なるべく400字詰の原稿用紙を用いること。欧文原稿は“一行あき”にタイプすること。
6. 和文の本論文には欧文の、欧文のそれには和文の簡単な摘要をつけること。
7. 原図には必ず倍率を表示し、図中の記号、数字には活字を貼り込むこと。原図の説明文は2部を作製し、1部はたやすく剥がすことができるように貼っておくこと。図は刷上りで頁幅か又は図の側方に10字以上のあきが必要である。
8. アート紙使用のプレートについては実費を著者で負担のこと。
9. 登載する順序や体裁は編集部にお任せのこと。活字の指定は編集部ですが、特に希望される個所があれば鉛筆で記入のこと。
10. 投稿者は必要とする別刷数（50の倍数）を原稿に明記すること。本論文に限りそのうち50部は無料、それ以上は著者負担のこと。
 - a. 希望される別刷の部数は論文原稿に明記のもの以外は引き受けない。
 - b. 雑録の別刷は1頁以上のもので実費を著者が負担する場合に限って作成する。
 - c. 著者の負担する別刷の代金は印刷所から直接に請求するので印刷所へ御送金のこと。御送金の後に別刷を郵送する。
11. 送稿の際には住所と郵便番号とを明記すること。
12. 送稿や編集に関係した通信は 〒201 東京都狛江市和泉本町1丁目9番地9号 津村研究所、岡田 稔あてのこと。

編 集 員

Members of Editorial Board

原 寛 (Hiroshi HARA)

編集員代表 (Editor in chief)

千原光雄 (Mitsuo CHIHARA)	井上浩 (Hiroshi INOUE)
伊藤洋 (Hirosi ITO)	金井弘夫 (Hiroo KANAI)
木村陽二郎 (Yojiro KIMURA)	木村雄四郎 (Yushiro KIMURA)
小林義雄 (Yosio KOBAYASI)	黒川遣 (Syo KUROKAWA)
三浦宏一郎 (Koichiro MIURA)	大橋広好 (Hiroyoshi OHASHI)
岡田稔 (Minoru OKADA)	津山尚 (Takasi TUYAMA)
山崎敬 (Takasi YAMAZAKI)	

代 金 払 込

- 1) 本誌代価普通号 1部 550円, 増大号は別に定めます。
- 2) 1ヶ年分 6,000円 (送料別)。
- 3) 代金払込は, 〒201 東京都狛江市和泉本町1丁目9番地9号 津村研究所 (振替東京 8-1680) へてにお送り下さい。

Overseas annual subscription rates: 8,500 yen including postage.
Payment in Japanese currency only.

All communications to be addressed to the Editor

Minoru Okada

Tsumura Laboratory, 1-9-9, Izumihoncho, Komae-shi, Tokyo, 201 Japan

昭和60年7月15日印刷
昭和60年7月20日発行

編集兼発行 岡 田 稔

印刷者 富 田 潔
〒176 東京都練馬区豊玉北2の13

印刷所 学術図書印刷株式会社
〒176 東京都練馬区豊玉北2の13
電話 (991) 3754番

発行所 津 村 研 究 所
〒201 東京都狛江市和泉本町1丁目9番地9号
(振替 東京 8-1680)
電話 (489) 4158番

定 価 550 円

不 許 複 製